

ちょっと一言!!

# 市民の声

広報委員が市民の皆さんに、  
行方市に寄せる思いをインタ  
ビューしました。



●学校の適正配置も北浦地区が  
いまだ見えてこないようです。地  
域では、小・中一貫校を望む声  
があります。子どもが複数いる場合、  
運動会、PTA会議、保護者会、  
役員の数、専門教師の指導など多  
くのメリットがあります。  
行方市初の小・中一貫校を北浦  
中付近に作っていただきたい。築  
35年の津澄小に統合では、北浦地  
区の住民が納得できないです。  
百里基地の騒音も民間共用化さ  
れてからのほうがひどいです。民  
営化のおかげで、行方市上空を回  
るのが増えています。住宅防音工  
事の拡大が必要です。市長さん、  
議員の皆さん、防衛省への働きか  
けをお願いします。

(50代 男性)

●私は、仕事をしながら子育て  
をしてきた一人です。

子育て支援を通して、親の立場  
から今支援する側となり、日々気  
付かされることがあります。

大切な子どもたちを預かる上で  
従事者に対しては、スキル向上の  
ための充実した研修の必要性、未  
来を担う子どもたちに「愛と安心」  
ある支援が出来る環境づくりは、  
やはり行政と地域の協力があって  
のことだと思えます。その中で、  
人任せにせず、積極的に保護者  
や教育関係者等とのコミュニケー  
ションを図っていくことの大切さ  
を日々感じます。  
それを踏まえて、行政側ももっ  
と子育て支援に目を向けてほしい  
と思います。

(40代 女性)

●私は50年以上、米や野菜を作っ  
ている農業者です。

この頃、耕作されずに荒れ果  
てた田畑が目立ちます。なんらか  
の事情があると思いますが、先  
祖代々作り続けた田畑の耕作を断  
念せざるを得ない時代かと思いま  
す。私も高齢の身となり、不安な  
今日この頃です。

米価の低迷はもとより、農業を  
取り巻く状況は以前にまして厳し  
く、先が見通せません。

行方市は耕作放棄地問題を真剣  
に考え、農家の収入安定のため  
の農政にしっかりと取り組むこ  
とが当面の課題であると思いま  
す。

(70代 男性)

●新年おめでとございませう。

また、新成人の皆様、誠に成人  
おめでとございませう。私たちの  
成人式は夏でしたが、やはり、新  
年を迎えたこの時期が、心身共に  
ベストな式の時期だと思えます。  
人生の節目として大人の仲間入  
りをされた皆様にひと言。  
人は、いつも誰かに支えられて  
いることを忘れず、「一日一善」を  
モットーに、常に感謝のできる良  
き社会人として、頑張ってください。

(40代 女性)



笑顔の門出 (成人式)

議会では、議会や市に対す  
る要望、意見、あるいは「議  
会だより」を読んでの感想な  
どをお待ちしています。

住所・氏名・電話番号を明  
記のうえ、議会事務局まで。

みんなで傍聴しましょう!! 次の定例会は3月上旬開会予定です。

編

集

後

記

平成23年卯年の輝かしい  
新春を、市民の皆様におか  
れましては、健やかに迎え  
えのこととお慶び申し上げ  
ます。



さて、昨年は、記録的猛暑や米価の下落  
など農政を取り巻く環境は厳しいものがあ  
りました。また、12月に行われた茨城県議  
会議員選挙では、横山忠市氏が再選されま  
した。

本年は、我々23名も4月21日に任期満了  
を迎えます。同月24日に執行が予定されて  
いる統一地方選挙では、先の議会で議決し  
たとおり、定数4人減の20人の議員が誕生  
します。

本市の財政状況は、緩やかに改善されつ  
つありますが、安心できる状況ではありません。  
今以上に健全財政を目指し、皆様と  
互譲互恵の精神で、一層の努力をしていき  
たいと思えます。

結びに、広報委員長として4年間、皆様  
から賜りましたご協力に心より感謝申し上  
げるとともに、皆様にとつて希望に満ちた  
一年でありますようご祈念申し上げ、編集  
後記といたします。

(宮内 正)

## 広報委員会

委員長 宮内 正

副委員長 高橋 正信

委員 松兼 幸蔵 鈴木 義浩

委員 関野 謙一